

○「調査結果の精査、非農地の整理へ」

(京都府宮津市 日ヶ谷地区連絡会議)(平成30年度第5回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年8月28日(火) 17:00~19:00
- 場 所: 宮津市日ヶ谷集会所
- 出席者: 石田委員、荻野推進委員
事務局1人
※委員2人、委員以外1人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 若者が農業に興味をもっておらず、協力が得られない。高齢化に伴い、共同作業の負担が大きくなっている
- 水路整備は、耕作者以外の支援を受けている
- 栽培は、自家用・縁故米、加工味噌材料、チソ栽培(1人)、ハウス採種(1人)

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 8月20日の利用状況調査調整協議に続いての調整会議
全地区でB分類が増加(43筆)しているが、新規でなく不明扱いにしていた農地の整理を協議
A分類→B分類2筆
B分類→耕作1筆(藪田)
- 今後、農地の現況と山林原野を整理するために委員、協力員、事務局による現地調査を行うことに



4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援